

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000357
事業所名	グループホームほほえみの里若林

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入していないか、自治会長から運営推進会議等で直接情報を聞いたり、コミュニティ便り等で情報を得ている。地域の夏祭りや盆踊りに参加している。八幡宮の大人神輿と子供神輿が立ち寄り、担ぎ手と会話をしたり、写真を撮ったりして関係性を深めている。近所の商店や美容院を利用したり、挨拶や会話を通して日常的な交流も図っている。また、月1回の認知症カフェへの参加も定着し、職員も認知症サポーター養成講座の講師を務め地域に貢献している。中学生、高校生、大学生、折り紙や物作りなどのボランティアも受け入れている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 区長、民生委員、地域包括支援センター職員の参加を得て年6回実施している。事業所の運営や活動状況、事故報告の他に施設の課題と取り組みなどを議題として取り上げ、参加者と活発な意見交換が行われている。参加者からの意見や提案等はそのまま話し合ったり、記録して会議などで協議しサービスの向上に活かしている。議事録は、ファイルして自由に閲覧できるようにしている。家族には面会時に口頭で内容を伝えたり、家族会などで報告しているが、家族の参加の在り方を検討している。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政担当窓口には介護保険更新手続きや申請の代行業務、サービスの取り組みなどを伝え、情報交換をしながら良好な協力関係を築いている。職員は市主催の研修会に積極的に参加し、サービス向上へ繋げるように努めている。地域包括支援センターを中心として民生委員やボランティアの協力を得て認知症カフェを毎月開催し好評を得ている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者の意見、要望は日常の会話や表情から読み取り、申し送りノートに記載して会議で検討し職員間で共有して運営に反映している。家族からは面会時やケアプランの説明などで、生活や事業所に対する要望を聞き、ケアや接遇などの改善に役立っている。また、年1回アンケートを実施し、結果は、職員で共有し施設のサービスの向上に役立っている。ほほえみの里新聞を発行して家族に安心を届けている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○